

C大腸がん1

対象疾患	大腸がん	レジメン名	I-LV+L-OHP+5-FU療法 (mFOLFOX6療法)		
1コースの期間(休薬期間含む)	14日				
総コース数	制限なし				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL (ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1
2	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
3	デキサメタゾン4 mg	2 T	経口		day 2~3 (Max day 2~4)
4	レボホリナート(I-LV)	200 mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1
	生食250 mL	1 P			
5	オキサリプラチン(L-OHP)	85 mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	5%ブドウ糖注射液250 mL	1 P			
6	フルオロウラシル(5-FU)	400 mg/m ²	点滴静注	全開	day 1
	生食50 mL	1 P			
7	フルオロウラシル(5-FU)	2400 mg/m ²	持続静注	46時間	day 1
	生食250 mL	※備考欄参照			
8	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
血管外漏出 リスク分類	L-OHP: 炎症性 5-FU: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 中等度 (L-OHP: 中等度 5-FU: 軽度)				
インラインフィルター の要不要	不要				
備考欄	<p>※I-LVとL-OHPは、同時に投与開始する。</p> <p>※デキサメタゾン点滴静注の内3.3 mgは、L-OHPによる静脈炎予防のためL-OHPと混注する。</p> <p>※5-FUの持続静注分は、全量230 mLとなるように調製し、bolus投与後にインフューザーポンプを用いて投与開始し46時間かけて投与する。</p>				